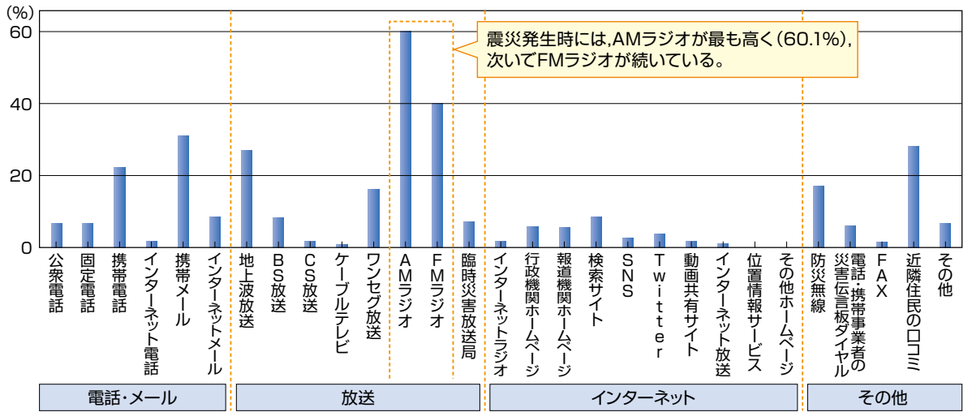
3 災害時の情報収集

東日本大震災のときのように，停電が起こると，テレビやインターネットといった，私たちがふだん情報を得ている手段を失います。このようなとき，どのような情報をなにから入手すればよいのでしょうか。

考えてみよう

災害のとき，どのような情報手段が有効か考えてみましょう。

震災発生時の有効だった情報手段



参考：総務省ホームページ「災害時における情報通信の在り方に関する調査（概要）」（平成 24 年）を加工して作成

災害のとき，今いる場所が安全かどうなのかなどの命に関わることが，まず知りたい情報です。東日本大震災直後では，ラジオからの情報入手が有効でした。しかし，被害があまりにも大きかったため，地域の細かな状況までわからず，不安な時間を過ごすというケースもありました。

「揺れが大きかったので，自主的に避難した」「揺れ自体で危ないぞという感覚があった」など，これまでの経験を避難に役立てたという意見もあったよ。

話し合ってみよう

避難には，どのような情報が必要とされるかについて話し合ってみましょう。

複数の手段により情報収集ができるようにしておく準備も必要です。さらに,近所の人も重要な情報源ですが,災害の中で混乱している場合があるので,まちがった情報に惑わされないようにすることも大切です。

使ってみよう

災害時，家族が無事でいるか心配になります。大きな災害が発生した場合には，安否確認，問い合わせなどの電話が殺到することで，電話回線が集中し，つながりにくい状況になります。安否などの情報を音声によって登録・確認できる「災害用伝言ダイヤル（被災地エリアで使用できるサービス）」を活用できるようにしておきましょう。

一般電話，公衆電話，携帯電話やPHSから利用できます。

電話で確認

171 災害用伝言ダイヤル

「171」をダイヤル

録音編

- 録音は「1」を入力（暗証番号を利用した録音は「3」です。）
- 被災地の方の「固定電話」の番号を入力
- 続けて「1＃」を入力（ダイヤル式の方はそのままお待ちください。）
- メッセージを録音
- 「9＃」で終了

携帯電話やPHSなどからのご利用についてはご契約の各通信事業者にお問い合わせください。

再生編

- 再生は「2」を入力（暗証番号を利用した再生は「4」です。）
- 被災地の方の「固定電話」の番号を入力
- 「1＃」で伝言の再生開始（ダイヤル式の方はそのままお待ちください。）
- 繰り返し再生は「8＃」次の伝言の再生は「9＃」
- 再生後のメッセージの録音は「3＃」

携帯電話やPHSなどからのご利用についてはご契約の各通信事業者にお問い合わせください。

※災害時,体験利用時ともに録音,再生時に通話料がかかります。

参考：NTT 東日本公式ホームページ（http://www.ntt-east.co.jp/saigai/voice171/）‘ご利用方法’

毎月1日と15日、正月三が日などは体験利用ができるよ。家族で練習しておこう。

知っておこう

地域密着の臨時災害放送局

東日本大震災後，自治体が新規開局したり，コミュニティFMとして被災者向けにFMラジオで地域密着の情報を届けたりしている市町があります。被災当初の給水・炊き出しなどの救援情報から，現在は地域のみなさんに役立つ復興情報や住民を元気づける情報を放送しています。

▲山元町臨時災害放送局 りんごラジオ